



レンジャーミニ図鑑 ⑥

狭山丘陵の都立公園では、レンジャーが自然を守り、その素晴らしさを伝えています。

狭山丘陵で見られるキノコ



1. マツオウジ
 ・夏～秋 かれた松から出る。
 ・かさの大きさ：5～25cm以上
 ぜんたいはクリーム色で、茶色っぽくひびわれる。ひだはノコギリのようにギザギザ。あまいにおいがする。



2. ムレオオイチョウタケ
 ・夏～秋 コナラの根本から出る。
 ・かさの大きさ：24～40cm
 ぜんたいがクリーム色で、とても大きくなる。甘く、ほこりくさい、つよいにおいがある。狭山丘陵では多い。



3. ナラタケモドキ
 ・夏 かれた木から出る。
 ・かさの大きさ：2～6cm
 かれた木からたくさん出る。ナラタケににているが、つばがない。



4. ハナオチバタケ
 ・夏～秋 地面から出る。
 ・かさの大きさ：0.8～1.5cm
 おちばのたまったところに出る小さなきのこ。オレンジタイプと、ピンクタイプ（下）がある。



5. シロオニタケ
 ・夏～秋 森の中の地めんから出る。
 ・かさの大きさ：9～20cm
 クヌギ、コナラなどの森に出る。ぜんたいがまっ白で、やわらかいとげでおおわれている。（上はひらいたところ）。



6. マントカラカサタケ
 ・夏～秋 地めんから出る。
 ・かさの大きさ：10～20cm
 森のはずれなどによく出て目立つ。はじめはマラカスのような形(円内)。ひらいたかさはフワフワとやわらかい。

しごと
きのこの仕事

落ち葉や枝をリサイクル

森の中などで、くさって、やわらかくなった木を見たことがありますか？中に糸のようなきのこの菌糸（きんし）が見つかることがあります。きのこが、かれた木をくさらせているのです。やがてこの木は土にもどります。きのこは木からようぶんとりながら、森のリサイクルをしています。

きのこ
きんし

*公園できのこをとって、たべてはいけません

狭山丘陵で見られるキノコ



7. フサヒメホウキタケ

- ・夏～秋 かれた松から出る。
 - ・大きさ：5～15cmいじょう
- さんごのような形で、だんりよくがあり、ぜんたいがうすいクリーム色。



8. アンズタケ

- ・夏～秋 じめんから出る。
 - ・大きさ：3～8cmくらい
- きれいなアンズ色で、あわいアンズのかおりがする。形も花びらのよう、うつくしい。



9. ツチグリ

- ・夏～秋 じめんから出る。
 - ・大きさ：2cmくらい
- 外がわが花びらのようにひらく。中のまるいふくろから、ほうし（きのこのたね）を出す。



10. ノウタケ

- ・秋 じめんから出る。
 - ・大きさ：5～8cmくらい
- しょくパンのような形の、フカフカしたきのこ。やがてボロボロになって、ちやいろのほうしを出す。



11. スッポンタケ

- ・11がつごろ じめんから出る。
 - ・たかさ：9～15cm
- にわたりのたまごのようなふくろに入っていて、そこからきのこのびだしてくる。出てきたきのこはくさくて、虫があつまる。



12. アラゲキクラゲ

- ・1ねん中 かれた木から出る
 - ・大きさ：6cmいじょうになる
- 下があかちゃ色で、上は白い毛がはえている。さわるとみみたぶのようなかんじ。中かきょうりでつかわれる。



13. アミガサタケ

- ・春 じめんから出る
 - ・大きさ：たかさ5～12cm
- ハチのすのようなあたまの、ふしぎなきのこ。サクラや、イチヨウの木の下がすき。



14. ドングリキンカクキン

- ・秋 ドングリから出る
 - ・大きさ：0.5～1.5cmくらい
- コナラのドングリから、お皿の形のきのこが出る。ドングリの中は、こげたように黒くなっている。